



ることが多光 竹林 希望」が常設展  
 い1年とな示されている。竹林を題材  
 った。とし緑を基調とした作品

本作に描は、頭上から降り注ぐよう  
 かれたのはな光にあふれ、しっとり  
 埼玉東北本した印象の「蒲桜」とは対  
 市の東光院照的だ。

に咲いてい 図書館と美術館に納めら  
 る蒲桜。蒲れた鎌田の日本画。桜と竹  
 桜品種の原 という伝統的な画題で描か  
 木といわれれた2作品で、釧路ゆかり  
 れ、樹齡はの日本画家の、色彩あふれ  
 る世界に触れていただきた  
 い。

# かさ人気

(釧路市立美術館学芸員  
 瀬戸厚志)

又文化を発信するお笑いコ  
 ンビのペナンペ・パナンペ  
 をとりあげた。

3万部を発行、道外のア  
 イヌ文化を展示する博物館  
 やホテル、道内では宿泊施  
 設や金融機関などで展示、  
 主要空港などの観光案内所  
 などで無料配布している。

地域包括ケア  
 支援体制考える

## CCCL研修会

医師や看護師、社会福祉  
 士らが集まり、地域連携や  
 在宅医療について考える団



体、NPO法人CCCL(く  
 くる(杉元重治理事長)の  
 研修会「写真」が22日、釧  
 路市生涯学習センターで行

われた。

約100人が参加し、「地  
 域包括ケアにおける医療・  
 ケアの決定プロセスを支え  
 る切れ目のない支援体制の  
 構築」をテーマに研修した。  
 研修会は3回予定され、今  
 回はその1回目。

第1部では行政の立場か  
 ら釧路保健所企画総務課長  
 の川上積之氏が、厚生労働  
 省の「人生の最終段階にお  
 ける医療の決定プロセスに  
 関するガイドライン」につ  
 いて説明。第2部では、実  
 践報告として杉元重治理事  
 長が、実際に在宅医療を行  
 った患者家族のインタビュー  
 ーや患者本人のブログ等を  
 動画にまとめて紹介。「在  
 宅医療で重要なのは医療従  
 事者や介護従事者との情報  
 共有。そして、本人、その  
 家族の方々との会話」と述  
 べた。

第3部は、出席者がグル  
 ープ討論した。杉元理事長  
 は「いろいろな職種の方が  
 連携を深めて行くことが非  
 常に重要。研修会にたくさ  
 んの方に参加していただき  
 たい」と話した。